

## 製品名: TRAF2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86844

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:56 kDa; Observed MW:53 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	TRAF2
別名	TRAP; TRAP3; MGC:45012
遺伝子 ID	7186
SwissProt ID	Q12933
免疫原	ヒト TRAF2 の合成ペプチド

### 背景

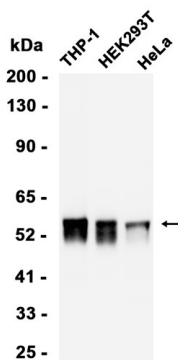
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体関連因子 (TRAF) タンパク質ファミリーのメンバーです。TRAF タンパ

ク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーと会合し、シグナル伝達を媒介します。このタンパク質は TNF 受容体と直接相互作用し、TRAF1 とヘテロ二量体複合体を形成します。このタンパク質は、TNF- $\alpha$  を介した MAPK8/JNK および NF- $\kappa$ B の活性化に必須です。このタンパク質と TRAF1 によって形成されるタンパク質複合体は、アポトーシス抑制タンパク質 (IAP) と相互作用し、TNF 受容体からの抗アポトーシスシグナルの媒介として機能します。このタンパク質は、TNF 受容体関連アポトーシスシグナル伝達因子である TRADD と相互作用し、IAP をリクルートしてカスパーゼ活性化を直接阻害します。ユビキチンリガーゼ活性を有するアポトーシス阻害因子 BIRC2/c-IAP1 は、このタンパク質のビキチンを脱ビキチン化して分解を誘導し、TNF 誘導性アポトーシスを増強する。この遺伝子には複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つかるが、生物学的妥当性が確認されている転写バリエーションは1つだけである。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

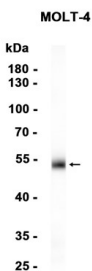
## 研究分野

-

## 画像データ



TRAF2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、THP-1、HEK293T、HeLa 細胞からの抽出物をウエスタンブロット分析しました。



AMRe86844 を 1:1000 で使用した MOLT-4 細胞抽出物のウエスタン ブロット分析。